

○倉敷市国民宿舎条例

平成10年12月24日

条例第52号

改正 平成15年12月26日条例第63号

平成24年3月16日条例第23号

平成25年12月26日条例第50号

平成31年3月22日条例第3号

倉敷市観光施設条例（昭和50年倉敷市条例第11号）の全部を改正する。

（目的及び設置）

第1条 市民の福祉の向上及び健康増進を図るとともに観光客の利便及びその保健休養に資することを目的として、国民宿舎を設置する。

（名称及び位置）

第2条 国民宿舎の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市国民宿舎良寛荘	倉敷市玉島柏島478番地

（事業）

第3条 国民宿舎は、宿泊、休憩、貸室、結婚式場、食堂、売店等の事業を行う。

（指定管理者による管理）

第4条 国民宿舎の管理は、倉敷市公の施設指定管理者の指定手続等に関する条例（平成15年倉敷市条例第54号）に基づき、市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせる。

（指定管理者が行う業務）

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- （1） 有料施設（宿泊施設、休憩施設、貸室及び結婚式場をいう。以下同じ。）の利用の承認に関する業務
- （2） 国民宿舎の維持管理に関する業務
- （3） 前2号に掲げるもののほか、国民宿舎の運営に関する事務のうち、市長のみが行うことのできる権限に関する事務を除く業務

（休業日）

第6条 市長は、管理運営上必要があると認めるときは、国民宿舎の休業日を定めることができる。

(利用の承認)

第7条 有料施設を利用しようとする者は、指定管理者の承認（承認された事項を変更しようとする場合における承認を含む。）を受けなければならない。ただし、指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 有料施設を損傷し、又は滅失するおそれがあると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、有料施設の管理上支障があると認めるとき。

2 指定管理者は、前項の承認に当たり、有料施設の管理上必要があると認めるときは、その利用について条件を付することができる。

(承認の取消し等)

第8条 指定管理者は、利用者（前条第1項の規定により承認を受けた者をいう。以下同じ。）が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したときは、承認を取り消し、又は利用の制限若しくは停止若しくは有料施設からの退去を命じることができる。

(利用料金)

第9条 指定管理者は、有料施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を利用者から徴収する。この場合において、別表第1の施設の宿泊に係る利用及び別表第4の結婚式場の利用については、規則で定める額の予約金を利用料金の一部として徴収することができる。

2 利用料金は、別表第1、別表第2、別表第3又は別表第4に掲げる基準額に0.5を乗じて得た額から当該基準額に1.5を乗じて得た額までの範囲内の額で、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする。

3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ、利用料金の額の案を作成し、市長に承認を申請するものとする。

4 指定管理者は、前項の規定により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、国民宿舎において利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。

(利用料金の収受)

第10条 市長は、前条の規定により納付された利用料金を、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第8項の規定により、当該指定管理者の収入として収受させる。

(利用料金の不還付)

第 1 1 条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を規則で定めるところにより還付することができる。

(1) 災害その他利用者の責めに帰することができない理由により、利用の目的が達成できないと認めるとき。

(2) 利用者が利用開始前に利用の取消しを届け出た場合で、指定管理者において相当の理由があると認めるとき。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、指定管理者において相当の理由があると認めるとき。

(利用料金の減免)

第 1 2 条 指定管理者は、公益上その他必要があると認めるときは、規則で定めるところにより利用料金を減免することができる。

(損害賠償)

第 1 3 条 施設等を損傷し、又は滅失した者は、指定管理者の指示に基づいて原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、指定管理者においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第 1 4 条 この条例の施行について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成 1 1 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 1 5 年 1 2 月 2 6 日条例第 6 3 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 1 6 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の倉敷市国民宿舎条例（以下「旧条例」という。）第 7 条の規定により徴収している予約金は、改正後の倉敷市国民宿舎条例（以下「新条例」という。）第 1 0 条の規定により徴収している予約金とみなす。

3 この条例の施行の際現に旧条例第 4 条の規定により使用の承認を受けている者は、新条例第 8 条の規定により利用の承認を受けているものとみなす。

(準備行為)

4 新条例第4条の規定による指定及びこれに関し必要なその他の行為は、新条例の施行前においても行うことができる。

附 則（平成24年3月16日条例第23号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年12月26日条例第50号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

6 この条例（第1条及び第34条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成31年3月22日条例第3号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

6 この条例（第2条及び第32条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1（第9条関係）

宿泊に係る1人当たり利用料金の基準額

区分	大人	小学生	幼児（3歳以上）
客室	5,500円	4,400円	2,200円
中広間	4,290円	3,740円	1,980円

備考

- 1 宿泊の利用時間は、午後4時から翌日午前10時までとする。
- 2 中学生以上は、大人とみなす。
- 3 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2（第9条関係）

休憩に係る1人当たり利用料金の基準額

種別 \ 区分	3 時間まで	6 時間まで
大人	9 9 0 円	1, 1 0 0 円
小学生	7 1 5 円	8 2 5 円

備考

- 1 休憩の利用時間は、午前 1 0 時から午後 4 時までとする。ただし、宿泊利用に支障がない場合に限り、午後 9 時まで延長することができる。
- 2 中学生以上は、大人とみなす。
- 3 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第 3（第 9 条関係）

貸室利用料金の基準額

利用時間 \ 利用場所	基本料金			冷暖房料
	午前 9 時から午後 5 時まで	午前 9 時から午後 5 時までの間で 4 時間以内	午後 5 時から 4 時 間以内	
研修室	1 5, 4 0 0 円	1 1, 0 0 0 円	1 3, 2 0 0 円	基本料金に 2 0 パーセントの割合を乗じて得た額
大広間 1	1 1, 0 0 0 円	6, 6 0 0 円	8, 8 0 0 円	
大広間 2	1 1, 0 0 0 円	6, 6 0 0 円	8, 8 0 0 円	
大広間 3	1 1, 0 0 0 円	6, 6 0 0 円	8, 8 0 0 円	
中広間	5, 5 0 0 円	3, 3 0 0 円	4, 4 0 0 円	
会議室	1 3, 2 0 0 円	8, 8 0 0 円	1 1, 0 0 0 円	

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第 4（第 9 条関係）

結婚式場利用料金の基準額

結婚式場（控室を含む。）	1 6, 5 0 0 円
--------------	--------------

備考

- 1 結婚式場の利用時間は、1 時間以内とする。
- 2 金額には消費税及び地方消費税を含む。

